

プログラムを含んだ大きい研究計画である。従って、各個人や各研究グループの研究計画、技術開発計画と GARP の関係は単純ではない。その中で FGGE をどのようにとらえるか、そろそろ煮つめるべき段階にさしかかっているのではないかと思う。また、将来の展望として、現在の GARP は気候変動を主テーマとした second GARP へと発展しようとしている。そうした大きい時間スケールでのみとおしの下に、日本でも FGGE についての活発な議論が展開されていくことを期待したい。

謝 辞

本文の原稿に目をとおり、種々の示唆や助言を賜っ

た、気象庁観測部高層課長 清水逸郎氏に深く感謝致します。

文 献

- 浅井富雄, 1973: GARP に関する最近の動向. 天気, **20**, 364-368.
 Joint Organizing Committee (JOC), 1973: The First GARP Global Experiment, Objectives and Plans. GARP Publications Series No. **11**.
 Thompson, T. (本母利広訳), 1971: GARP における基礎資料群計画. 天気, **18**, 413-415.

第17期第4回理事会議事録

日 時 昭和48年10月29日 17. 30~19. 00

場 所 仙台市グランドホテル会議室

出席者 磯野, 小平, 中山, 窪田, 河村, 大井, 神山, 川村, 二宮, 丸山, 駒林, 伊藤, 北川, 各常任理事
 竹内, 岸保, 孫野, 佐々木, 山本, 中島, 山元, 坂上, 沢田, 各理事
 藤田監事

議 題

1. 次期選挙管理委員長について
 気象研究所宮崎正衛会員が決定した。
2. 支部設置の検討について
 東海地方に支部を設けることが提案され原則は了承されたが
 (イ) 今後の支部設置についての基本方針
 (ロ) 名称をどうするか
 を次の常任理事会で検討することになった。
3. 学生会費の取り扱いについて
 前納者は翌年一年分は学生会員として取り扱うことに決定した。
4. 学会財政について
 学会財政を健全なものにするためには約40%会費を値上げしなければならないが、値上げを30%程度に抑えたいので、集誌のページチャージによる増収、大会参加

費の大幅値上げなどが検討された。次の常任理事会までに具体案を作る。

5. 東レ科学技術研究助成の候補者推薦について
 次の2件を推薦することに決定した。

石川晴治(名大空電)ほか5名: 日本列島より発生する微粒子汚染質の動向とバックグラウンド汚染の研究
 角皆静男(北大水産)ほか3名: 大気圏および海洋における化学物質(人類起源物質含む)の挙動と循環に関する研究

6. 学術雑誌の印刷用紙の確保と価格引き下げについて

声明を出したらとの提案があったが検討の結果関係方面に要望書を提出することに決定した。

7. その他

(1) 賛助会員に札幌市がなった。これについて同市よりなぜ、他の政令指定都市が賛助会員の対象にならないかの質問を受けたので、至急候補者名簿を改定し該当の地方理事には勧誘を依頼することになった。

(2) 天気 of 表紙および内容の変更について編集委員長より説明があった。

(3) 外国文献集の経理状況について報告があった。

承認事項

新入会員狐塚正夫ほか12名および賛助会員札幌市の入会を承認